

一対比較データの分析プログラム

PPairCompML.exe

一対比較データを分析するプログラム PPairCompML.exe を起動すると、図 1 のフォームが提示される。

対 象	ラベル
対象 1	

図 1 起動時のフォーム

「追加」ボタンをクリックすると、左のグリッドの行が増える。必要なだけ行を増やして、対象のラベルを設定する（図 2）。このラベルは、計算結果の出力において各対象を表すために用いられる。

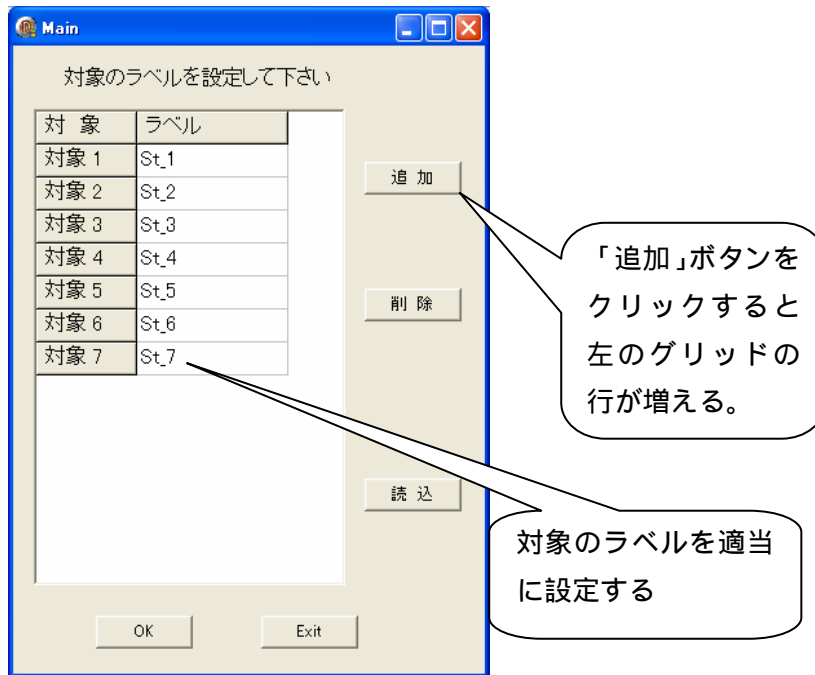


図2 対象のラベルの設定

ラベルの設定後、「OK」ボタンをクリックすると図3のフォームが表示される。



図3 一対比較データ設定用フォーム

本書表 1.5 のデータを設定した場合は、図4のようになる。



図4 データの設定例（本書表 1.5 の場合）

設定したデータは、「保存」ボタンのクリックで保存することができる。保存されたデータは CSV 形式で書き出され、図 1 の「読込」ボタンのクリックで読み込むことができる。

図 1 の「読込」ボタンをクリックすると、図 5 のダイアログボックスが表示される。

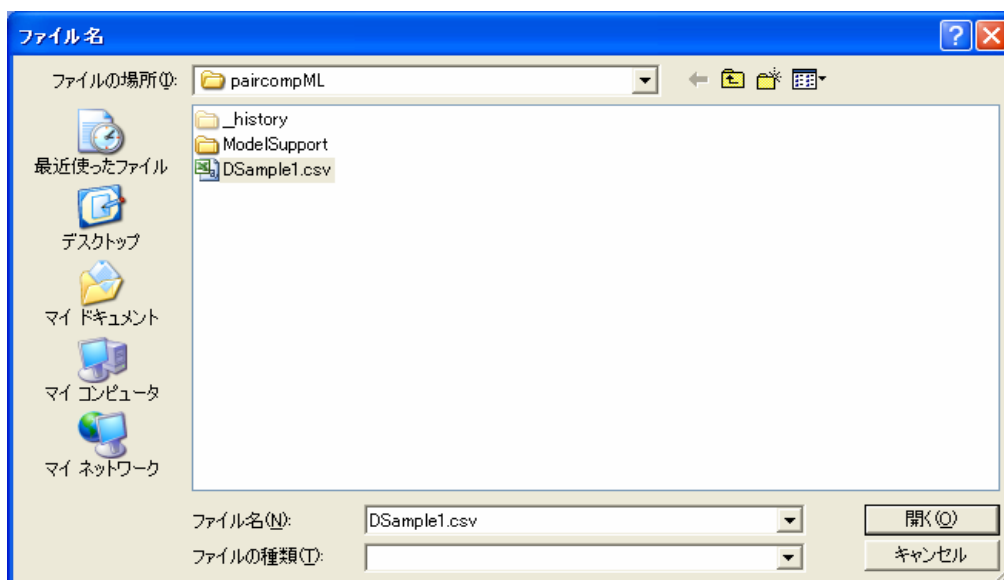


図5 入力データファイル名の設定

データファイルは CSV 形式のファイルなので、拡張子は「.csv」である。ファイル名の設定後、「開く」ボタンをクリックするとデータが読み込まれ、図 4 のフォームが表示される。

データの設定後、図 4 のフォームの「OK」ボタンをクリックすると計算が始まるが、ま

ず計算結果の出力用ファイルの名前の設定を求めるダイアログボックスが表示される（図6）。

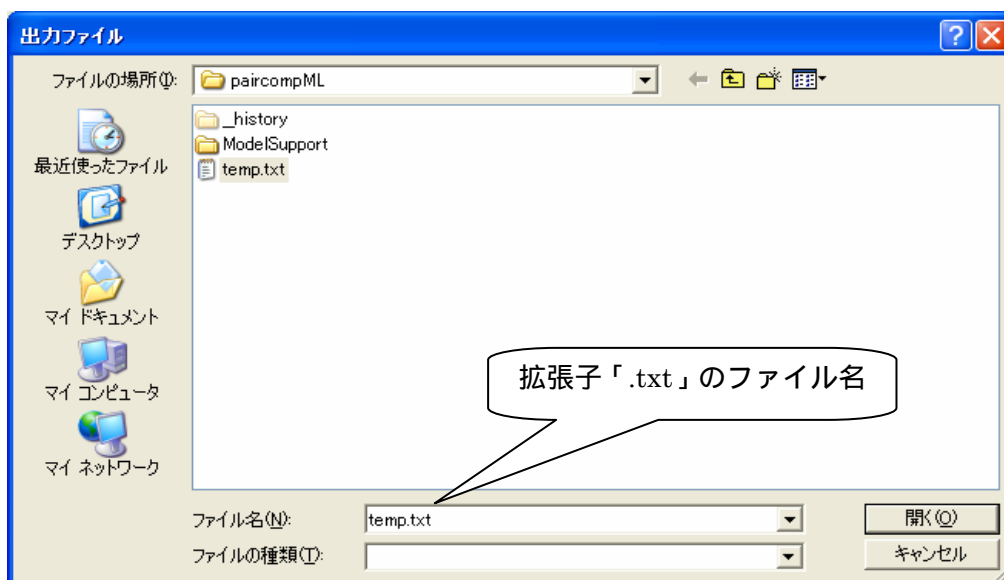


図6 出力用ファイルの名前の設定

出力用ファイルにはテキストファイルとして書き出されるので、ファイル拡張子は「.txt」としておくと便利である。ファイル名の設定後、「開く」ボタンをクリックすると計算が始まる。計算は直ぐに終了し、プログラムの実行終了となる。プログラムの実行終了後、図6で設定した名前のファイルをエディタで開くと図7のようになっている。

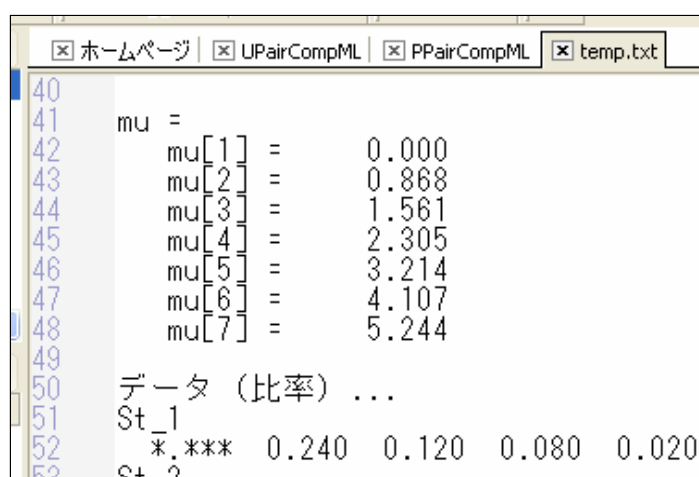


図7 出力ファイルの内容

表 1.5 のデータを分析したものなので、表 1.7 に示されている結果と同じものが出力されていることがわかる。

